

## 「緊急事態宣言」後の対応について

新型コロナウイルス感染症の新たな対策についての資料を同封していますので、しっかり読んでいただき、これから先も「うつらない」「うつさない」の気持ちを持続しましょう。  
(事務局)

## 「事故防止及び事故取扱基準」が制定されました(続き)

1月号に続いて本基準についてのお話です。事故を無くす一番の方法は、会員の皆様自身が事故を起こさないよう、どの場面でも慎重に周囲の状況を考えて行動することです。事故はどんな場面にも潜んでいます。特に傷害事故の場合はご自分がケガをすると日常生活にも影響することにもなります。また他人にケガをさせることや、損害賠償するような事故を起こすと大変です。そのことを何時も心の隅に持っていただくことが事故に遭わないことにつながります。標記の、「事故取扱基準」にある保険給付10%(上限3万円)を会員が自己負担をしていただくことになったのは、皆さんに「事故を起こさない」という強い心を持っていただき、毎年事故件数に比例して負担が大きくなる保険料をくい止める一助として考えられたものです。私たちの体力、反射神経、判断能力は衰えてきています。それが高齢者だと自覚して事故を起こさない行動をお願いいたします(この基準の全文を同封しています)

(安全・適正委員会)

### 2月末の事業実績

※( )は昨年比

- 会員数：2,264人(-2人)
- 事業高累計(含派遣)：628,419千円(-67,962千円)
- 就業実人員(含派遣)：1,775人(-55人)

## 「翔アップ第68号」全戸配布!!

『翔アップ』を市内全域で全戸配布しました。コロナ禍でもシルバー会員が元気に活躍している姿を見ていただき、市民の皆さまに元気を取り戻していただければとの思いで作成しました。「シルバー人材センター」の存在を知っていただき、仲間を増やし、新たな受注につながることを期待しています。家庭、友人、知人の中で『翔アップ』や「シルバー人材センター」を話題にしてください。

(広報・企画委員会)



## 理事・委員会委員の公募説明会について

令和3年度から2年間センターの運営にあたっていただく理事と委員会委員を若干名公募します。公益社団法人であるセンター事業活動を理解され、熱意と実行力があり、理事、委員、事務局と協調して活動していただける方を募集します。別紙のとおり「事前説明会」を開催しますのでご応募ください。  
(事務局)

## こんな時、届出が必要です

会員とセンターとの連絡がスムーズに進められるよう、登録内容に変更があれば、特に以下の項目は必ずご連絡ください。

- ◆ **住所**⇒配分金明細書は転送不可の扱いです。郵便局に「住所変更届」を出していてもセンターに返却されます。
- ◆ **電話番号など**⇒メールアドレス変更及び電話、FAXの廃止も含まれます。
- ◆ **緊急連絡先**⇒住所、電話及び緊急連絡者の変更。  
※緊急連絡者にはシルバー人材センターに届出ている旨を、必ずお伝えください。
- ◆ **届出方法**⇒電話、FAX、センター窓口(総務課)

### センター無事故継続日数

- 就業中：47日
- 就業途上他：10日  
(2021年2月28日現在)



●安全・適正委員会からのお知らせ●

■『春の全国交通安全運動』が始まります  
〈4月6日(火)～4月15日(木)〉

4月10日(土)は、「交通事故死ゼロを目指す日」。  
★交通事故死者数の半数以上を高齢者が占めており、近年は高齢者の運転による事故が増加傾向にあります。  
★当センターでは、就業会員による自転車事故が前年度に比べて2倍以上に増加しています。事故ゼロの気持ちで気をつけましょう。  
「自転車は車の仲間です！」車道では左側を徐行するよう心がけてください。  
※会員のみなさんは、高齢者であることを認識し、「事故を起こさない」「事故に遭わない」を意識して、期間を問わず、自転車や自動車を運転するようお願いします。  
※春の交通安全運動の注意点は、別添のポスター(縮小版)をご覧ください。(安全・適正委員会)



地区だより 続々発刊されています!

地区の活動報告、イベント案内などをお知らせする『地区だより』が5地区で続々発刊されています。『地区だより』は定期発行され、地区内の情報共有や、会員間の親睦を深める」などに活用されています。  
センター事務所にも掲示されていますので、参考に見てみてください。(広報・企画委員会)

\*\*\*  
コロナ禍での過ごし方

小品盆栽



一人コツコツ樹木と向かい、手入れに手間をかけると、樹々も応えてくれます。ゴルフクラブからピンセットとハサミに持ち替えて15年。小品盆栽(手のひらサイズ)にはまっています。  
コロナ禍でも、一人コツコツと樹木と向かい合い、手入れをしています。  
小品盆栽は自然界の木々が持つ、力強い生命力を小さな鉢の上に表現する芸術です。その価値は、落葉後の冬の時期、寒樹(根張り幹・枝振り)の鑑賞です。詫び・寂びを感じる盆栽は、樹形の景色を見ながらお茶が飲めるといいます。  
木も生き物なので、水やり・肥料・植え替え・枝剪定・針金懸けなど手間がかかります。動物のお世話と同じで旅行もできません。  
しっかり手入れした木が、春から夏にかけて葉を付け綺麗に花を咲かせてくれた時、お礼をしてくれたと感じます。  
右の写真はブーゲンビリアです。室内に置いていますので、冬に花をつけてくれています。(甲東地区会員)

トラブルに巻き込まれないために④

会員の皆さん、  
日頃のお仕事ご苦労様です。  
●お仕事は順調でしょうか?  
発注者の指示と自分の考え方が合わない場面にも出くわすでしょう。少しの提案なら発注者も話は聞いてくれるかもしれませんが、郷に入れば郷に従えで、自分の意見や考えが通らないからといって腹を立てるのはよくありません。人それぞれに考えがあり、その職場での歴史もあります。  
相手はあくまで発注者ですから、思いが通らない場合でも、そこはこれまで長年培ってきた経験と、我慢という「人との折り合い術」でかわしてください。  
カッとなっても6秒我慢!とされています。6秒経過すると脳内の興奮物質のアドレナリンの分泌ピークが収まってきます。  
我々の歳になると人前でカッとなつて良いことは一つもありません。穏やかなシルバー生活を満喫しましょう。(事務局)